

- 01 FP Topics
- 02 白石茂治の Market report
- 02 Topics 基本 word
- 03 深野康彦の投資道場
- 04 食べてうれしい!
日本全国おいしいパン
セクション

東芝保険サービス株式会社 リテール企画部 営業支援グループ
 〒 212-8585 神奈川県川崎市幸区堀川町 72 番地 34 ラゾーナ川崎東芝ビル 2階 Tel. 044-578-1028

2021.06 vol.74



75 歳以上の医療保険の自己負担割合 2 割に引き上げへ

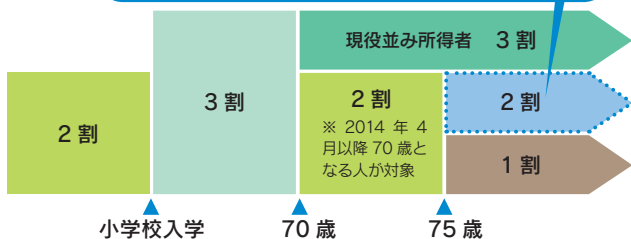
6 月に入って、私たちの生活に直結する法律が相次いで成立し、連日のように報道されています。なかでも、75 歳以上の医療費の窓口負担が 2 割になる、というニュースには驚かれた方も多いのではないのでしょうか。

「国民皆保険」の公的医療保険制度

日本の公的医療保険制度は、「国民皆保険」制度。日本に住所のある人はいずれかの公的医療保険制度に加入することが義務付けられています。国民全員を公的医療保険で保障している社会保険方式を採用しており、被保険者が支払う保険料と公費（国からの予算）がこの制度を支える財源です。こうした互いに医療費を支え合う相互扶助の仕組みのおかげで、病気やケガをしたときに一部の自己負担で高度な医療を受けることができているのです。医療機関窓口での自己負担の割合は、図のように年齢や収入によって異なります。

健康保険の自己負担割合

一定の所得のある 75 歳以上の後期高齢者の医療費の窓口負担を 2 割に引き上げる（2022 年 10 月～2023 年 3 月の間で導入予定）



厚生労働省「高齢者医療制度」掲載資料より株式会社ノースアイランド作成

改正は 2022 年度内にも導入予定

今年 6 月 4 日の国会で成立した医療制度改革関連法では、一定の所得がある 75 歳以上の後期高齢者医療制度に加入している人の窓口負担が 1 割から 2 割へと引き上げられることになりました。対象となるのは、世帯内の後期高齢者のうち課税所得*1 が最も高い人の課税所得が 28 万円以上で、年金収入+その他の合計所得金額が複数世帯（後期高齢者が 2 人以上の世帯）は 320 万円、単身世帯は 200 万円以上の人。75 歳以上の約 20% が該当することになります。

今回の改正では、現役世代の負担増を抑え、高齢者

に対しては、収入に応じた支払いを求めていく、という方向性が示されています。少子化に歯止めがかからない日本にあって、社会保険制度を維持存続するためにこうした制度改革が繰り返されており、今後もそのような見直しは続いていくものと思われます。年を重ねると家計にどのような変化が見られるのか、その目安を知っておくと備え方も明確になってくるのではないのでしょうか。下の図は、高齢者世帯*2 の支出を非高齢者世帯*2 と比較した場合に、どれくらい違いがあるのかを示しています。2017 年の消費支出の 10 大費目別構成比を比較すると、「保健医療」が 1.69 倍と最も高くなっています。さらにその内訳をみると、「健康保持用摂取品」が 2.33 倍と高くなっており、健康の維持・増進のため保健医療に費やす支出割合が高いという特徴がうかがえます。

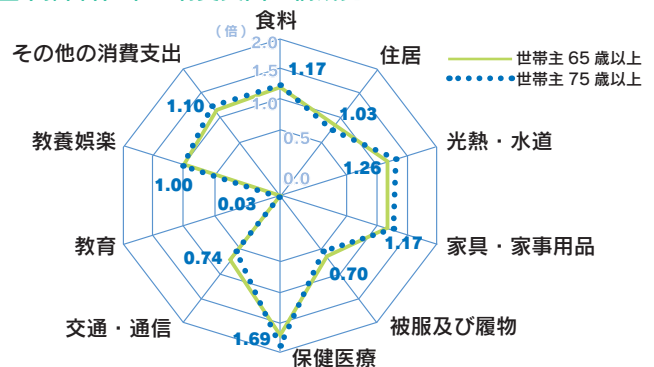
日頃から健康を維持するために、生活を見直したり、定期的な健康診断が大切です。また、家計についても、定期チェックや、将来について目安を確認するなどの“健康診断”は並行して行っておかれるとよいでしょう。

*1 「課税所得」は、収入から必要経費などを引いた「所得」から基礎控除などの所得控除を除いた額。

*2 「高齢者世帯」は、世帯主が 65 歳以上である二人以上の世帯。「非高齢者世帯」は、世帯主が 65 歳未満の世帯。

「Topics 基本 Word」は P2 をご覧ください。

高齢者世帯の消費支出の構成比（非高齢者世帯に対する倍率）



※高齢者世帯：世帯主が 65 歳以上である二人以上の世帯

※グラフのゴシック体の数値は 65 歳以上の世帯の倍率

総務省「統計からみた我が国の高齢者（平成 30 年 9 月 16 日）」資料より 株式会社ノースアイランド作成

白石茂治の

Market report



日本株式の見通し (2021年6~7月)

日本株は10%程度の調整あり得る この機に市場参入の広がりを期待

コロナワクチンの登場で、世界経済は2021年は6.0%、2022年は4.4% (IMF) と順調に回復する見通しです。つれて世界の株価は2020年3月から2021年5月までに86%上昇。そこから直近まで3%強の調整となっています。日本も84%上昇して2月に戻り高値をつけました。ただ日本はそこからの調整が10%と大きくなっています。

日本でも若年層を中心に投資の輪は広がりつつあります。それでも米国の投資家層の厚さに比べるとまだまだの感があります。加えて、海外投資家の売買シェアが2021年になってそれまでの70%から65%まで落ちており、これが日本の調整幅を大きくしていると思われる。

米国株はPBRが4.9、PCFRが21.9と史上最高レベルにあり、6~7月は調整局面に入るでしょう。つれて日本株もあと10%程度の調整はあり得ます。ただ日本株は世界平均に比べ日経平均換算で1万円強も割安なので、この調整局面に市場参入の輪が広がることを期待します。

白石 茂治
ノースアイランド投資顧問(株)代表取締役

半世紀にわたり日本の金融に従事。山一投資顧問、ソシエテジェネラル時代は企業アナリスト、ストラテジストとして活躍。日本初のオイルマネーの運用担い手として金融発展にも貢献。山一投資顧問時代は日本版ラップ口座の企画開発など、個人投資家の市場参加への開発にも注力した。TV、新聞を始め、参議院自民党政策審議会など日本の中枢を司るメンバーの金融教育も担当している。



為替市場の見通し (円/ドルベース、2021年6~7月)

目先は若干円安に動くも、 市場は緩やかな円高方向に

為替市場は107円~110円/ドルでの膠着状態にあります。米国の物価上昇、市中金利の上昇といったドル高要因と、物価差拡大は円高に繋がるといった構造要因が入り混じって、為替市場は迷っている印象があります。

前回も書きましたが、為替の決定要因で大きいのは長期では物価差を反映した購買力平価、中期では中央銀行の政策姿勢、とくに通貨供給量と金利差、短期では市場参加者の思惑です。問題は、足元の為替を動かしているのがどの要因であるのかの見極めが難しいことです。

足元で最も順調に景気が回復しているのは米国です。日米の長期金利差が1.5%に拡大しており、ドル高・円安の方向感が出ているのは、当然の動きとも言えます。一方で、日米の消費者物価差が4%以上も開いていることも事実です。購買力平価説の立場からは円高となります。総合して見た私の結論は、目先は若干円安に動いても、市場は緩やかな円高の方向に傾くとの見方です。



後期高齢者医療制度

75歳以上の人やまたは65歳以上74歳で一定の障害状態にある旨の認定を受けた人が加入する公的医療保険制度が「後期高齢者医療制度」で、2008(平成20)年から施行されています。制度の運営主体は都道府県ごとの区域内すべての市区町村が加入する後期高齢者医療連合であり、加入届出、保険料の徴収、給付申請は市区町村役場で行われます。後期高齢者医療制度の財源は、窓口負担を除くと、

5割を公費で負担し、残り4割は現役世代からの支援金、1割は高齢者の保険料で賄われています。

原則として75歳になれば、それまで加入していた健康保険や国民健康保険から脱退し、後期高齢者医療制度に加入することになります。したがって、健康保険の被保険者が75歳になりこの制度に加入した場合、その人に扶養されていた75歳未満の人は健康保険の被扶養者ではなくなるため、新たに国

民健康保険などに加入することが必要となり、健康保険料が発生することになります。

保険料は原則として公的年金などから天引きされますが、世帯の所得に応じた保険料軽減が設けられています。



checkpoint

「ESG 運用の真打ち登場」



有限会社ファイナンシャルリサーチ
代表 深野康彦

メディアやセミナーなどを通じて、資産運用のほか、住宅ローンや生命保険、あるいは税金や年金などのお金周り全般についての相談業務や啓蒙を幅広く行う。日本経済新聞夕刊「投信番付」のほか連載多数。日経 CNBC「夜エクスプレス」では水曜日のアンカーを担当。オールアウトではマネープランクリニックを担当のほか、さまざまな分野のガイドを行っている。

近頃人気の「ESG ファンド」 実は中長期の運用履歴があるものも

ESG に対する取り組みを投資対象選別に反映する ESG ファンド。昨年度 1 年間でその純資産総額は 4 倍超に増えています。環境 (Environment)・社会 (Social)・企業統治 (Governance) の頭文字をとった「ESG」投資。人気に火が付いたのは 1 年位前からですが、中には中長期の運用履歴を有するファンドもあります。その運用会社がフランス初の独立系運用会社である「コムジェスト・アセットマネジメント (コムジェスト・グループ)」です。正確には公募ファンドとして運用履歴があるのではなく、同社の投資戦略 (投資スタイル) として投資対象資産別に 15 年～ 30 年の運用履歴があるのです。

コムジェスト・アセットマネジメントは個人投資家より法人 (機関投資家) からの支持が高い運用会社。個人向けであれば、セゾン投信の「セゾン資産形成の達人ファンド」の欧州株、新興国株、日本株式 (一部) の運用を行っています。同社は ESG という言葉が出来る前から、いち早く ESG の観点に基づいた分析を投資のコアとしてきました。代表取締役高橋庸介氏によれば、やっと世の中が弊社の運用スタイルに追いついてきたと述べています。ESG 運用の真打ちの同社が満を持して新規設定したのが、「ESG フォーカスコムジェスト・

クオリティグロース・日本株式ファンド」、「ESG フォーカスコムジェスト・クオリティグロース・世界株式ファンド」の 2 本です。交付目論見書などには、運用・設定は「新生インベストメント・マネジメント」になっていますが、実質的な運用はコムジェスト・グループが行っています。

投資判断において「ESG 分析」を重視し クオリティグロース企業を厳選して運用

2 本のファンドに共通するには、投資判断において ESG 分析を重視。日本株式型は日本株の、世界株式型は世界の「クオリティグロース企業」を厳選し、長期投資を行って運用されます。5 月末現在、購入できるのは新生銀行、エース証券、マネックス証券の 3 社ですが、取扱い金融機関は増やしていく予定です。同じ投資戦略で運用が行われている円ベースの運用成績は、図表の通り。過去の運用成績は将来の運用成績を保証するものではありませんが、指標となる指数を大幅に上回っていることから期待が出来るファンドといえるのではないのでしょうか。というのも、運用環境は良い局面も悪い局面もありますが、2 つの投資戦略はいくつもの大幅調整 (急落局面) を乗り切ってきた運用のノウハウがあると思われるからです。

コムジェスト・グループの投資戦略 (累積クロスパフォーマンス円ベース「年率/%」)

	当四半期	過去 1 年	過去 3 年	過去 5 年	2008 年末	運用開始 年月
グローバル株式戦略	10.28	17.87	12.79	13.88	9.83	1991 年 7 月
MSCI AC World	12.20	10.45	6.91	8.88	5.23	
日本株式戦略	18.09	39.71	16.66	16.79	15.64	1994 年 4 月
TOPIX Total Return	11.19	7.39	2.15	5.50	8.23	

※出所：コムジェスト・グループ会社概要
・基準日：2020 年 12 月末、通貨：円ベース
・パフォーマンスは全てのアカウントを対象とした費用控除前のコンポジット・パフォーマンス (クロス・パフォーマンス)。

今なら
コレでしょ

🍴🍴
👉 食べてうれしい! 日本全国おいしいパンセレクション 👈

今話題の「駅ナカ ベーカリー」大特集! 全国から名店が集まる東京駅ならではの楽しみです

最近、TVのバラエティーや情報番組などで「パン」の特集が組まれることが増えているように感じませんか? 「食べてみたい!」と思いつつ、それだけのために足を運ぶのは難しい方も多いのでは…。でも大丈夫! 「東京駅」なら、名店の味をまとめて楽しめます。改札内のグランスタ東京の「駅ナカベーカリー」だけでも常設で8件。そのほかにも、改札外のお店、期間限定の店舗なども展開されており、常に様々な味が楽しめます。今回は、普段FP個別相談やセミナーなどを担当しているメンバーズ厳選の味をご紹介します。

BURDIGALA TOKYO

東京・広尾にある本店「ブーランジェリーブルディガラ」は2020年の「パン TOKYO 百名店」にも選ばれている、パン好きには絶対外せないお店の1つ。その味が東京駅で手に入ります。今のイチオシは「マイル」。全粒粉のパン生地に北海道産とうもろこしとくるみの組み合わせが、大人の味わいで、夏季限定商品です。季節の味、たとえば「ジョンヌ」も見逃せません。ブラックオリーブがたっぷり練り込まれたパンにパプリカ、ベビーコーン、プチトマトのトッピングにワインが進んでしまいそう。「玉ねぎのツナメルト」は、「ツナ好きには最高! 程よいオイル感が好き」というコメントも寄せられました。



写真右上から「マイル」「ジョンヌ」「玉ねぎのツナメルト」



写真はソースナルBOX (4個入り) 人気のプレミアムクロワッサン、どちおとのクロワッサン、あんバタークロワッサン、ショコラクロワッサンがセットになっています。

Curly's Croissant

昨年オープンした新エリアにある「Curly's Croissant」はその名の通り、クロワッサン専門店。本店は栃木県宇都宮市にあります。「しっかりとしたサクサク感で食感が楽しく、いちごの甘酸っぱさが後を引くおいしさ」と、「どちおとめクロワッサン」をおススメに挙げる声、多数。「あんバター」の組み合わせは、最近よく見るけれどクロワッサンは食べたことがなくて、ココの味にはまりました」と「あんバタークロワッサン」も人気です。スイーツと思えるほどの見た目と味で、ついお店をのぞいてしまう、と通勤途中でチェックしているスタッフもいるほどです。

ブランジェ浅野屋

ご存じ、軽井沢の老舗ベーカリー「ブランジェ浅野屋」。こちらのパンは、「どれもこれもオーソドックスでありながら、いつ食べてもいつもおいしくいただける飽きの来ない味」というコメントがあったように、どれもこれもが安定のおいしさ。特に定番のカレーパンは「昨年、30年ぶりにリニューアルされ、ますますおいしくなった」という意見もありました。



写真右奥から「THE TOAST」(2枚入り)「カレーパン」「ベーコンエビ」

「このお店なら、コレ」「あそこなら…」と選ぶのに苦労しているスタッフもいたほどでした。いずれも絶品のパンばかりです! ぜひお試しください。